

# 図書館だより

〒519-0505 伊勢市小俣町本町2番地

電話 0596-29-3900 FAX 0596-29-3902

ホームページ <https://iselib.city.ise.mie.jp/>

子育て・X (旧 Twitter) @ObataKosodate (全て半角英字)

一般・X (旧 Twitter) @ObataToshokan (全て半角英字)

YA・X (旧 Twitter) @ObataYA (全て半角英字)



## 小俣図書館 図書館行事 ご案内

### ★赤ちゃんおはなし会

3月14日(木) 午前11時～ <2階・会議室>

(定員) 先着10組

(申込み) 3月6日(水) 午前9時から  
直接または電話で小俣図書館へ



### ●たんぽぽおはなし会

3月9日(土) 午後3時～ <2階・会議室>

(定員) 先着20人程度(当日会議室で受け付け)



### ●ピッポの会・紙芝居

3月17日(日) 午前11時～ <2階・会議室>

(定員) 先着20人程度(当日会議室で受け付け)



### ●図書館おはなし会&工作

3月23日(土) 午後3時～ <2階・会議室>

おはなしの後、紙で「リバーシブルずし」を作ります。

(対象) 3歳～小学生(就学前の子どもは保護者同伴)

(定員) 先着20人程度(当日会議室で受け付け)



### ●上映会

3月16日(土) 午後3時～ <2階・視聴覚室>

【**星新一の不思議な不思議な短編ドラマ1**】

《ドラマ・60分》

星新一原作の「ポッコちゃん」など4作品を上映します。

(定員) 先着20人程度(当日視聴覚室で受け付け)

開館時間 午前9時～午後7時  
休館日 毎週火曜日、第2金曜日  
年未年始、特別整理期間

最寄りのバス停  
「小俣図書館」

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)  
1団体50冊1か月以内(うち雑誌は25冊まで)



3月 小俣図書館カレンダー 4月



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

### ★春休み図書館お手伝いし隊 隊員募集

①説明会 3月10日(日) 午後2時～ <2階・会議室>

②お手伝い期間 3月23日(土)～31日(日) の中で  
都合の良い3回(26日(火)をのぞく)

各日午後2時～3時 <小俣図書館内>

書架の整理や本の修理など、小俣図書館で簡単なお手伝いをしていただきます。(図書館のエプロンを着けての作業です)

(対象) 小学4年生～高校3年生(令和6年3月現在)

(定員) 先着6人

(申込み) 3月1日(金) 午前9時から、直接または  
電話で小俣図書館へ



### ★赤ちゃんといっしょ!

#### ブックスタートおはなし会

3月20日(水・祝) 午前11時～ <2階・会議室>

ブックスタートパック絵本の中から、親子で楽しめる絵本の読み聞かせをします。

(対象) 妊婦および2歳以下の子どもとその保護者

(定員) 先着10組程度

(申込み) 3月3日(日) 午前9時から、直接または  
電話で小俣図書館へ

※当日、母子健康手帳を持参したブックスタート未実施の人には、カウンターでブックスタートパックをお渡しします。

(配布対象: 市内在住で子どもがいる家庭)



### ●わくわくストーリーテリングおはなし会

3月24日(日) 午前11時～ <2階・会議室>

想像をふくらませて、耳で楽しむおはなし会です。楽しい手あそび歌もあります。

(対象) 子ども～大人までどなたでも

(定員) 先着20人程度(当日会議室で受け付け)



### ★図書館探検 2023年度

#### ドラゴンと行く図書館にねむるお宝をさがせ!!

3月30日(土) 午後2時～(開場は午後1時45分)

<2階・会議室>

普段見ることのできない図書館の裏側を探検します。

(対象) 小学生(※子どものみの参加となります)

(定員) 先着10人

(申込み) 3月2日(土) 午前9時から、直接または  
電話で小俣図書館へ



※「★」の行事は、申込みが必要です。

※行事詳細は小俣図書館のポスター・チラシをご覧ください。

※諸般の事情により、行事が延期または中止になる場合がございます。ご了承ください。

# 伊勢市立伊勢図書館 3月号 図書館だより

No.265

令和6年(2024年)3月1日発行  
編集・発行 伊勢市立伊勢図書館  
指定管理者/株式会社図書館流通センター  
住所 〒516-0076 伊勢市八日市場町13-35  
電話 0596-21-0077 FAX 0596-21-0078  
ホームページ <https://iselib.city.ise.mie.jp/>  
一般・X(旧twitter) @toshokan\_iselib  
子育て・X(旧twitter) @isetoshokan  
YA・X(旧twitter) @IselibYa



## 「おはなし会」

《日時》毎週 土曜日 午後2時30分～

《場所》1階・おはなしコーナー

3月2日/おにいさん、おねえさん による おはなし会

3月9日・16日・23日・30日

／おはなしプーさん による おはなし会

☆30日はストーリーテリングです☆

(絵本や紙芝居などを使わずに語るおはなし会)

えほんの  
よみかかせ  
かみしばい  
など

## 「あかちゃんえほんのじかん」

《日時》3月28日(木) 午前11時～

《場所》2階・視聴覚室

《内容》あかちゃんむけの絵本の紹介や、  
手あそびなどをします♪

「あかちゃんえほん  
のじかん」は、  
毎月第4木曜日です。



## 図書館 de レッスン 髪の毛のことで知ってみよう!

《日時》3月17日(日) 午前11時～

(1時間程度)

《場所》2階・視聴覚室

《対象》3歳から小学生(就学前の子どもは保護者同伴)

《定員》10組(先着順)

《内容》髪の毛のことでどれくらい知ってる?  
現役美容師さんからねぐせの直し方やヘアアレンジ  
など教えてもらっちゃおう!

髪の毛の絵本も読むよ!

《講師》立橋香那さん(s t i r 副代表)

《申込》3月2日(土) 午前9時から、

直接または電話・ファックスで同館へ



## 「上映会」

《日時》3月24日(日) 午後2時～

(開場:午後1時45分)

《場所》2階・視聴覚室

《定員》40人(当日先着順)

## 流浪の月

(上映時間 150分)

「誘拐犯」と「被害女兒」一。  
癒えない傷を抱えたまま再会した  
“許されないふたり”は、  
愛よりも切ない宿命を背負いながら  
ひとすじの光に手を伸ばす。



## 春休み子ども映画会

《日時》3月31日(日) 午後2時～

(開場:午後1時45分)

《場所》2階・視聴覚室

《定員》40人(当日先着順)

## 若おかみは小学生!

(アニメーション 94分)

両親を交通事故で亡くし、おばあちゃんが経営  
する旅館で若おかみ修行をしている小学6年生  
のおっこ。同級生のライバル旅館の跡取りに  
からかわれながらも仲間といっしょに頑張りな  
がら成長します。

## リサイクルフェア

《日時》3月9日(土)・10日(日)

午前9時15分～午後3時

《場所》2階・視聴覚室

《内容》保存期間を過ぎた雑誌や図書を  
リサイクルします。

※9日(土)は午前8時45分から9時まで伊勢図書  
館裏駐車場、9時以降は2階視聴覚室前で整理券  
を配布し、順次入場していただきます。

※9日(土)午前10時45分までは冊数制限を行い、  
1人10冊まで(うち雑誌は5冊まで)とします。

※状況によっては、入場人数・滞在時間の制限をさせ  
ていただきます。

※本の補充はありません。

★詳しくは館内配布のチラシ、  
ホームページをご覧ください。

※諸般の事情により、行事が延期または中止になる  
場合があります。ご了承ください。

開館時間 午前9時～午後7時

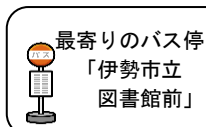
休館日 毎週水曜・第2金曜

・年末年始・特別整理期間

貸出 1人10冊 2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊 1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

\* 伊勢図書館・休館日カレンダー \*



最寄りのバス停  
「伊勢市立  
図書館前」



3月

4月



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				



## 本のごあんない

### 〔一般書〕癒しの動物たち♡

いつもかわいい表情や姿で、わたしたちを楽しませてくれる動物たち。

今回は、心あたたまるペット小説や、ファンには嬉しいパンダ愛がつまった一冊、いつか必ず行きたくなくなっちゃう動物園ガイド、動物をモチーフにしたかわいらしさあふれる和菓子のレシピ本など、動物がテーマになっている本を紹介します。読んだらきっと心癒されます♪

◎ニャンニャンにゃんそろじー（有川浩／〔ほか〕著 講談社）

◎しっぽちゃん（群ようこ／著 角川書店）

◎動物園めぐり（G.B.）

◎パンダとわたし（黒柳徹子と仲間たち／著 朝日新聞出版）

◎癒しのどうぶつねりきり 初心者さんもおうちで簡単！（三宅正晃／著 KADOKAWA）



### 〔児童書〕「<sup>こころ</sup>心にのこる名作を！」

“ぐりとぐら”って聞いたことありますか？ すぐに頭に思い浮かぶ人も多く、思いいます。今回は、「ぐりとぐら」の絵本のように、長く読み継がれている名作をたくさん紹介します。この機会にぜひ手に取ってみてください。もしかしたら、君のお父さんやお母さんも読んだことがあるかもしれません。一緒に選んで一緒に読むのもきっと楽しいと、思いいます♪

★注文の多い料理店（宮沢賢治／作 池田浩彰／絵 講談社）

★ピーターラビットのおはなし（ビアトリクス・ポター／作・絵 川上未映子／訳 早川書房）

★くまの子ウーフ（神沢利子／作 井上洋介／絵 ポプラ社）

★長くつ下のピッピの本 決定版

（アストリッド・リンドグレーン／作 イングリッド・ヴァン・ニイマン／絵 石井登志子／訳 徳間書店）

★シートン動物記シリーズ（アーネスト・T. シートン／文・絵 今泉吉晴／訳・解説 童心社）



### 〔YA〕翻訳を味わう

外国語の作品を日本語に翻訳するとき、どういった表現にするのか？ そこには翻訳家それぞれのセンスが光ります。同じ本を別々の翻訳家が訳したものを読み比べてみるのも面白いかも！

#### 【一般書】

◎ぼくは翻訳についてこう考えています 柴田元幸の意見 100（柴田元幸／著 アルク）

◎完全版アリス物語

（ルイス・キャロル／著 芥川龍之介、菊池寛／共訳 澤西祐典／訳補・注解 グラフィック社）

◎プーの細道にたった家（A.A.ミルン／著 阿川佐和子／訳 新潮社）

#### 【児童書】

◎はじめて読む！海外文学ブックガイド 人気翻訳家が勧める、世界が広がる48冊

（越前敏弥／〔ほか〕著 河出書房新社）

◎石井桃子 児童文学の発展に貢献した文学者（筑摩書房編集部／著 筑摩書房）

◎プー横丁にたった家（A.A.ミルン／作 石井桃子／訳 岩波書店）



※伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。ご利用館にない場合は、予約ができます。



# 海藻～豊かな海からのめぐみ～

豊かな海に生まれ、わかめ、ひじきなどの海藻が旬を迎える春。

伊勢志摩地方の海でもたくさんの海藻が採取され全国の食卓へと送られていく。

古来、海藻は日本人の身近な食材として日常的に親しまれ、古くは縄文遺跡から土器に入ったわかめやひじきが見つかる。

古代の法典『大宝律令』や『養老律令』には、当時の税として海辺から海藻が朝廷へ献上されたことが記されている。さらには平城京跡から出土した木簡に、志摩国から海藻類11種が税として都へ運ばれた記録も残っている。

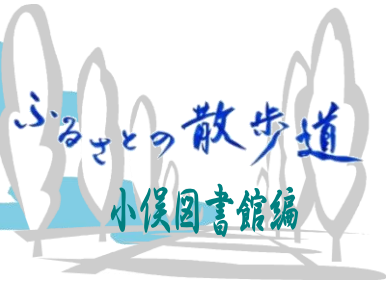
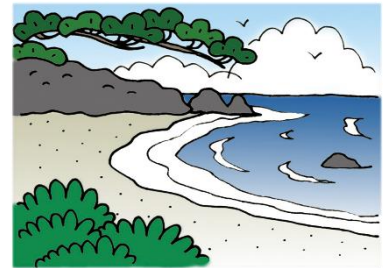
海藻は神に供える食「神饌」にも欠かせない。伊勢神宮で千五百年にわたり続いている朝に夕に神前に食をお供えする「日別朝夕大御饌祭」で捧げられる食事の中にも必ず昆布、ひじきといった海藻が供される。この海藻は朝と夕とで異なる種類が供えられるという。

当地ならではの海藻に「伊勢ひじき」がある。伊勢湾と太平洋の海水が激しく交わる磯で育つため、太く長く、切っても中に丸く開いた空洞がないことが特長。歯ざわりが軽く風味の良い品であり、三重県の特産品をPRする「三重ブランド」にも認定されている。このひじきは指定の採集場所で年に1度、3月から4月の潮の引いた時を見計らって鎌で刈り取られる。伝統的蒸し過程を経て、じっくり乾燥させるなど、手間暇かけて仕上げられていく。

「ひじきを食べると長生きする」と、古くから健康に良いとされ、ぜひたくさん味わってみたい。

海藻はサザエやアワビのエサとしても貴重であり、これからもふるさとの豊かな海が育んでいくことだろう。

- 三重 祭りの食紀行 (千種清美/著 風媒社)
- 三重県食文化事典 (大川吉崇/著 創英社)
- 三重県の食生活と食文化 (大川吉崇/著 調理栄養教育公社)
- 海藻王国 (鈴木克也/[ほか]著 エコハ出版/編 日本地域社会研究所)



今月は小俣図書館のスタッフ2人が本を紹介します。



一般書

一般書

もしもあの日に戻れるなら、  
あなたは誰に会いに行きますか？

「コーヒーが冷めないうちに」  
(川口俊和/著 サンマーク出版)

この本には、過去に戻れる不思議な喫茶店が登場します。そこに「めんどくさいルール」があっても、訪れた人が勇気を出して過去に戻ろうとするのは、それぞれに抱えた理由があるから…。

現在シリーズ5冊まであり、一つ一つのストーリー(4話ずつ)から想いがあふれてきます。読んでいてついつい涙する心温まる奇跡の物語。

Q.この不思議な喫茶店の店名は？



「おいしい食の流行史」  
(阿古真理/著 青幻舎)



「そうそう、そんなブームあったあった」と思い出したり、「江戸時代の終わりはそうだったのか」と初めて知ることあったり、楽しく食文化の発展を知ることができます。そして、食の流行の背景にある政治体制や経済状況が大変興味深く、日本の食と暮らしが見えてくる1冊です。

食べるのが大好きな人に  
オススメします!!

Q. 大正時代に流行した「○○○○の唄」、  
○○○○に入る食べ物は何？

答えは、本を読んでみてください!